

令和5年度当初予算編成方針

我が国の景気は、緩やかに持ち直しているものの、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっていることや、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

本市の財政は、歳入の根幹をなす市税収入については、回復傾向にありますが、歳出については、今後、大規模プロジェクトが進行するほか、少子高齢化により医療・介護などの社会保障費の増加が見込まれます。

このような中、令和5年度の当初予算については、諸般の事情により骨格的な予算を編成することとなりますが、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、緊急課題への対応や継続的な事業については、次に掲げる基本方針に沿って予算編成を行うものとします。

基本方針

- ① 令和5年度は、第4次総合計画前期基本計画（まちづくりプラン）の最終年であるため、本市の目指す都市像である「緑豊かで健康な文化田園都市」の実現に向け、計画に掲げる事業に取り組むこと
- ② 現在進行中の大規模プロジェクトについて、国・府の動向に十分留意し、補助制度を最大限に活用できるよう、関係機関と連携を図ること
- ③ 厳しい財政状況の中、企業誘致による歳入確保、民間活力の導入や公共施設マネジメントの推進による歳出の削減、デジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進による市民サービスの向上や事務の効率化など、行政改革実行計画に掲げる取組を進めること

令和4年（2022年）10月7日

京田辺市長 上 村 崇